

ラジオNIKKEI「医療ジャーナル」で 学長インタビュー 6/25～3週連続放送決定！

鈴木学長が、来年2016年、100周年を迎えるにあたり、東京医科大学の100年の歩みと記念事業についてラジオ番組のインタビューを受けました！

ラジオNIKKEI第1で毎週木曜日21:15～21:30放送の「医療ジャーナル」で、6月25日から3週に渡り放送されます。

6月25日(木) 第1回：東京医大の“これまで”を語る
7月2日(木) 第2回：東京医大の“いま”を語る
7月9日(木) 第3回：東京医大の“これから”を語る

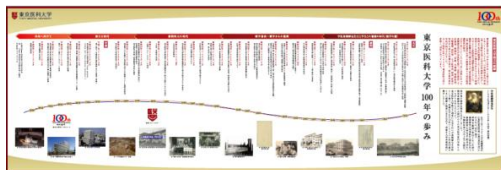
東医の歴史はもちろん、鈴木学長の将来に対する想いやビジョンを聞くことができる貴重な機会です。みなさんぜひお聞ください！

短波が受信できるラジオをお持ちでない方も、スマホやPCの「radiko(ラジコ)」で聞くことができます！また、後日ラジオNIKKEIホームページでネット配信を予定しています。

【短波ラジオ】3.925MHz、6.055MHz、9.595MHz
【ラジオNIKKEI】<http://www.radionikkei.jp/>
【radiko】<http://radiko.jp/>

創立100周年記念企画展示 歴史年表シート・歴史写真パネル 7月11日(土)公開

■大学記念会館に歴史年表展示
くオープンキャンパス向け>



現在、大学に歴史年表シート、大学病院に歴史写真パネルの掲出に向け、目下準備中です！

この歴史年表シートを掲出する大学の「記念会館」は、学生や職員が利用する地下食堂や、入学式・卒業式にも使われる屋内運動場兼大講堂のある施設です。

本学創立50周年記念事業の一環として、同窓のみなさんの“後世に残るものを”という熱い意志によって資金が集められて、昭和41年に建設されたものなんです！



100周年
さんかく娘♪

■大学病院に歴史写真パネル展示
く患者さん・進学説明会向け>



これからオープンキャンパスや進学説明会等で来学される方はもちろん、大学病院に来院される患者さんに、より東京医大に興味や関心を持っていただければと考えています。

大学病院の歴史写真パネルは、エスカレーター下り壁面と4階ガラス壁面に掲出されます。特にエスカレーターは“新宿にある東京医大”ならではの企画展示になっています。さらに、1階正面受付には新大学病院の完成予想パース図も展示します。

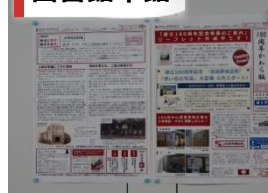
茨城・八王子での展示も順次計画中。お楽しみに！

学生のみなさんに朗報！ 図書館本館にも 100周年かわら版専用コーナー設置！

学生のみなさんにもっと気軽に見てもらいたい！そんな想いから、大学病院敷地内の教育研究棟(自主自学館)2階にある図書館本館にも「100周年かわら版専用コーナー」を設置しました！

もちろん大学キャンパスにある図書館分館にも掲示しています。また、7月中に茨城・八王子への100周年専用掲示板設置が決定しました。

図書館本館



入ってすぐの展示スペースには頒布版もおいてあります！バックナンバーもありますのでご自由にお持ち下さいね♪

入って正面の壁面には、A2ポスターサイズのかわら版を掲示しています！



100周年かわら版



2015
(平成27年)

第6号

発行：東京医科大学創立
100周年事業広報委員会

事務局：法人経営企画・広報室

☎03-3351-6141(内線298)

✉keiei@tokyo-med.ac.jp

100th 創立100周年
特設サイト

<http://www.tokyo-med.ac.jp/100years/>

連載企画

歴史に学び、
歴史を創る。

大学病院特集②

第5章 なぜ、大学病院が西新宿に建てられたのか

第4章では、なぜ大学と大学病院が離れているのか、その理由に焦点をあてました。第5章では大学と離れた土地の中でも、なぜ今の西新宿の土地が選ばれたのか、その理由に迫ります。



昭和初期の新宿界隈

昭和4年(1929)当時、東京医専のある新宿界隈は、東口には三越や「ほていや」(今の伊勢丹)、中村屋、高野、さらには、今の100円SHOPにあたる「十銭ストア」などたくさんのお店が立ち並びかなり開けて賑わっていました。



昭和8年頃の新宿駅東口方面
(写真提供:新宿歴史博物館)

一方、西口には広大な土地に淀橋浄水場が作られていたため、商業的には未発達な土地でした。

そんな中、大学がある東大久保の土地から遠すぎない場所で、新病院建設用地として広大な土地を探していた本学は、淀橋区柏木町にあり、大通りに面した完全に長方形で、2,265坪もある広大な土地に行き当たり、これを買収するに至りました。そして、この土地を買収することができたのはまさに「人と人のつながり」ゆえだったのです。



*ちなみに…淀橋病院が建設された当時、そのすぐ裏に広がっていた淀橋浄水場は、昭和40年(1965)にその機能が東村山に移管されて閉鎖となりました。その跡地は再開発により、昭和46年(1971)、47階建ての超高層ビル「京王プラザホテル」が、昭和49年(1974)、「新宿住友ビル」、「新宿三井ビル」などの高層ビルが次々と建てられました。現在では「淀橋」の名前は「ヨドバシカメラ」や「淀橋第四小学校」などに名を残すのみとなっています。

(監修:東京医科大学図書館) 【NEXT】次号では、大学病院敷地内にある“あるもの”の謎に迫ります。お楽しみに!

人と人のつながりが時代を切り拓く

当時眼科助教授(後の理事長)だった馬詰嘉吉先生が、その土地の所有者の娘婿と友人関係にあったため、交渉するにあたり協力を得ることができたのです。その娘婿の父親が本学の同窓だったことも無関係ではなかったのではないのでしょうか。交渉の結果、その買収額は20万円のところ、最終的に2万円は本学への寄付という形になり、18万円の支払いで妥結したのです。(当時の教員初任給:50円)

こうして西新宿に土地を得た本学は、もともとあった家屋を利用して昭和6年5月「淀橋診療所」として附属病院を開院。翌年「淀橋病院」と改称、昭和21年5月に東京医科大学の設立が認可された際に「東京医科大学病院」へと改称され今に至ります。2千数坪だった土地はその後少しずつ拡大して1万坪余になり、今の基幹病院が完成していったのです。



今の西新宿に大学病院を開院できたことを抜きには、本学の発展は語れません。時代を切り拓く鍵は、いつも人の「縁」だと改めて実感するお話ですね。



えんがわ広報。



かわら版から生まれた「人と人のつながり。」先日、そのことを物語る出来事がありました。なんと!かわら版3号に掲載した歴史史料室にある連判状に「祖父の名前があるかもしれないので見学をしたい」というメールが事務局に届いたのです。後日、ご家族の方が来学されましたが、残念なことにごそこにお名前はありませんでした。しかし、同窓会名簿と無試験開業指定時の記念写真に掲載されていたことが分かり、とても感動していました。東京医大から生まれる人と人のつながりを、皆さんと共に私も大切にしていきたい。(R)

100周年シンボルマーク
を活用しよう!



「100周年」を盛り上げていくため、学生さんが考案した100周年シンボルマークをぜひ活用してください!学会資料やプレゼン資料に入れるなど使い方は人それぞれです。

▼データのダウンロードはこちらから
大学HP>教職員の方へ>「学内専用」

ロゴマーク、名刺、レターヘッド等データ

<http://tmcwwww.tokyo-med.ac.jp/keiei/rogo.html>

7月

大学記念館への
大学表シート
写真パネルの
歴史

6月

「全員参加企画」
想いの写真募集
スタート!
百年史制作の
業務委託先が
決定
「座談会」を
開催

100

近未来
動
静